

地球環境基金助成事業

持続可能な未来を創るための 環境と女性・ジェンダー 意見交換会&キックオフイベント

特定非営利活動法人 北九州サステナビリティ研究所

研究員 織田由紀子

このイベントは平成27年度独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金の助成を受けて開催されます。

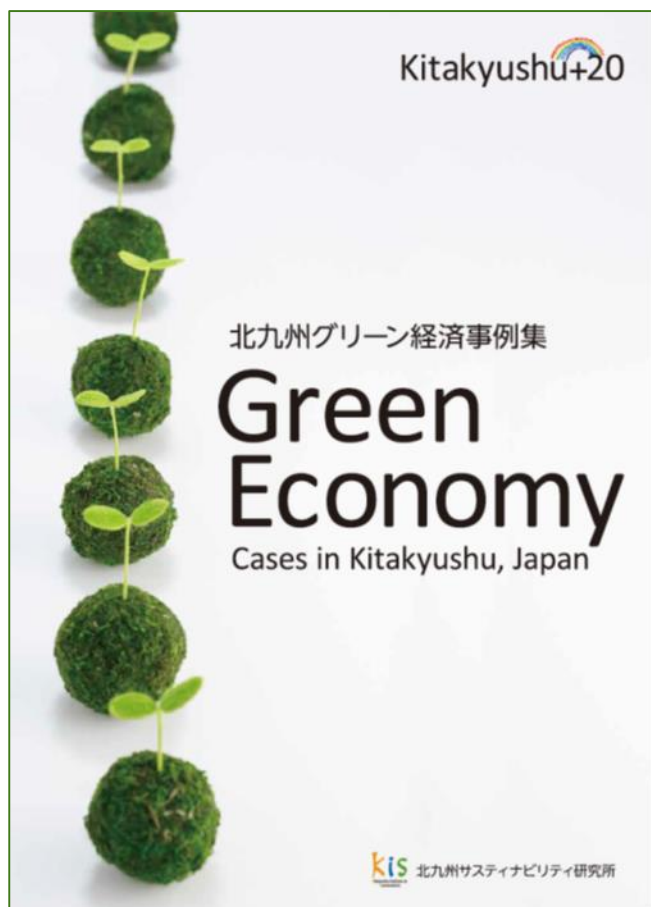
特定非営利活動法人 北九州サステナビリティ研究所とは

▶ 目的

1. 市民、団体、企業、行政など、さまざまな活動主体のネットワークにもとづき、持続可能な社会システムを構築すること
2. 持続可能な社会システムの構築を通して地域の活性化へ寄与すること



特定非営利活動法人 北九州サステナビリティ研究所とは



- ▶ **主な活動**
- ▶ 環境保全や持続可能な社会づくりにかかわる活動の支援・推進・実施
- ▶ 持続可能な社会づくりにかかわる活動のネットワークの支援・推進
- ▶ 勉強会やシンポジウムなどの企画・支援・実施
- ▶ 持続可能な開発教育（ESD）の支援・推進・実施
- ▶ 持続可能な開発に関する実践・研究活動
- ▶ 政策提言活動 など

『グリーン・エコノミー北九州』を作成し、2012年のリオ+20に参加
<<http://kis.jpn.com/> 参照>

このイベントは平成27年度独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金の助成を受けて開催されます。

地球環境基金助成

「日本における環境と女性・ジェンダーに関する事例集の作成とプラットフォーム構築」事業とは

▶ 目的

日本における女性のエンパワーメント・ジェンダー平等の視点にたった環境保全活動の推進

▶ 事業概要

1. **【事例集の作成】** 『環境活動における女性・ジェンダー事例集』の作成
2. **【教材として活用・世界への発信】**
3. **【プラットフォームの構築】**

女性のエンパワーメント・ジェンダー平等の視点にたった環境保全活動に取り組んでいる人びとの意見交換・情報交換と活動推進の場を構築する。

このイベントは平成27年度独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金の助成を受けて開催されます。

女性のエンパワーメント・ジェンダー平等の視点 とは

- ▶ 女性のエンパワーメント：現在の社会では、ジェンダーに関する社会の観念や固定的な性別役割分業のために、女性の決定参画が遅れている。ジェンダー平等が達成されるよう、女性が力をつけること。
- ▶ ジェンダー平等：性別、年齢、民族、障がいの有無、出身などの多様な背景に基づく不平等がなく、誰もが同等に自分らしい生き方を選択し、決定に平等に参画できること、それを保障する仕組みや制度があること。 <<http://jwg.jp/> 参照>

なぜこの問題に取り組んでいるか

①女性の環境運動「青空がほしい」

- ▶ 1950～60年代、重工業都市北九州で、工場からの煤塵公害の、家族の健康に及ぼす影響を心配し、立ち上がったのは、地域婦人会の女性たち。

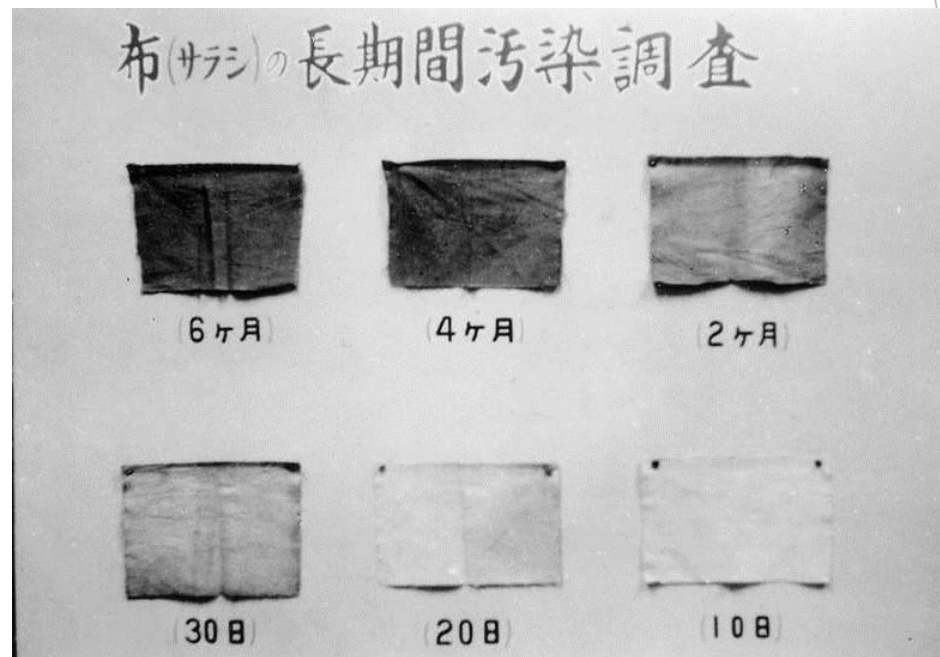


このイベントは平成27年度独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金の助成を受けて開催されます。

なぜ、この問題に取り組んでいるか

①女性の環境運動「青空がほしい」

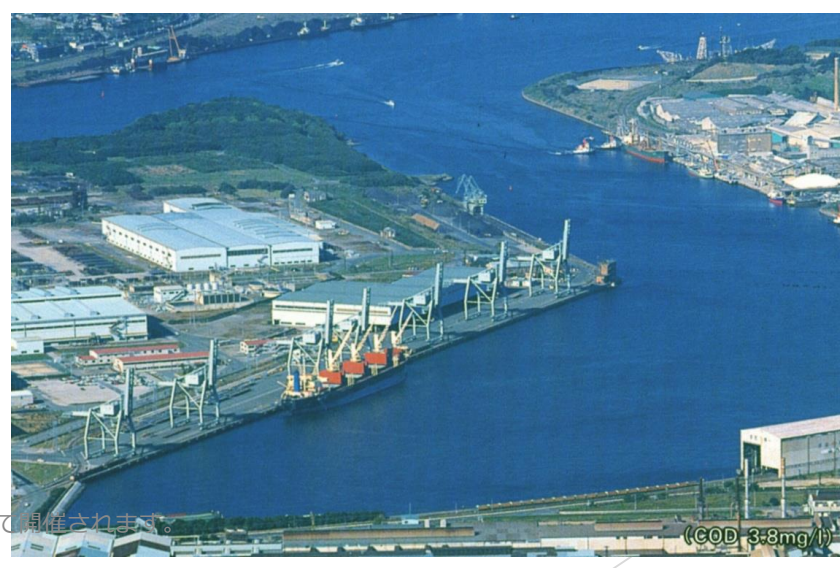
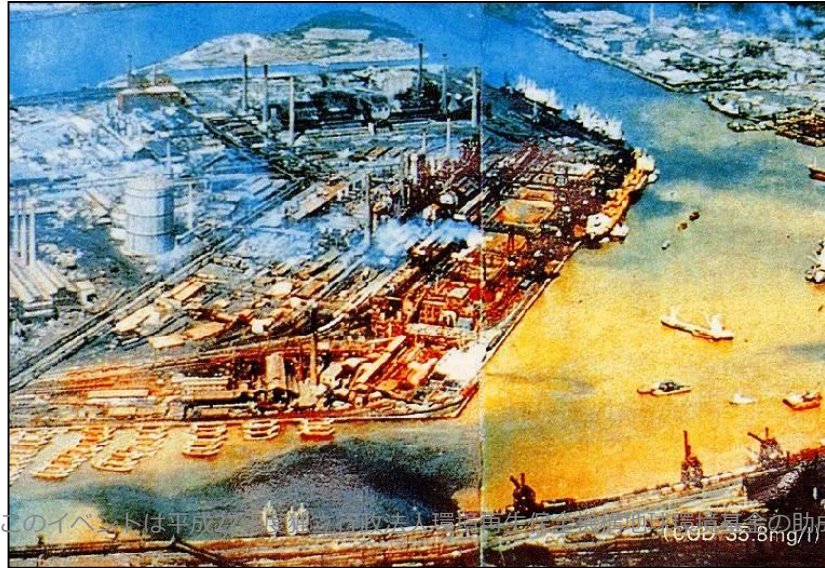
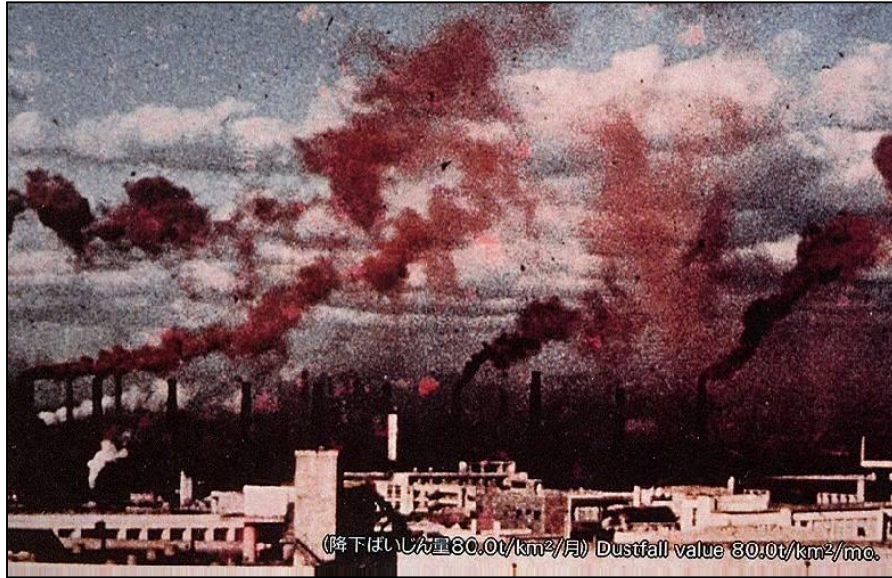
- ▶ 女性たちは、大学研究者の協力のもと自分たちで調べ、データで訴え、市（行政および議会）や産業界を動かし、公害防止条例の制定につながった。



このイベントは平成27年度独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金の助成を受けて開催されます。

1960年代

今日



なぜ、この問題に取り組んでいるか

② 『環境活動における女性・ジェンダー事例集』を作成して

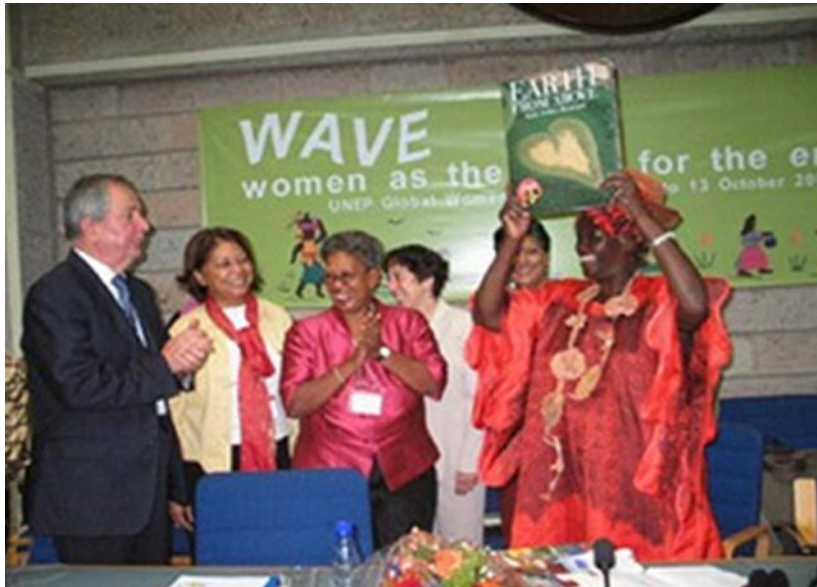
- ▶ もっと詳しく知っていただきたい
- ▶ お互いに知る機会を作りたい
- ▶ 持続可能な環境・社会に向けての活動と女性の活躍・ジェンダー平等の関係を理解したい
- ▶ 新しい出会いがほしい



このイベントは平成27年度独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金の助成を受けて開催されます。

【参考】グリーンベルト運動との相似

- ▶ ワンガリ・マータイ博士が1977年に始めた植樹運動
- ▶ ワンガリ・マータイ博士は2004年ノーベル平和賞を受賞



このイベントは平成27年度独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金の助成を受けて開催されます。

今日のプログラム

9:00	開会、はじめに	北九州サステナビリティ研究所 織田由紀子
9:20 ~ 10:20	活動事例紹介	
	1. 女性が活躍する白神自然学校一ツ森校一地域素材材と場所を活かす	白神自然学校一ツ森校 代表理事 永井雄人
	2. 菜の花でつなぐ循環型地域づくり	菜の花プロジェクトネットワーク 藤井絢子
	3. 環境・福祉・学びあいの仕事おこし	NPO地域づくり工房 太谷優子
	4. リユース食器レンタル事業で循環型社会の実現を	認定NPO法人スペースふう 理事長 永井寛子
10:20~	Q&A	参加者
10:40~ 11:40	コメントと情報提供 持続可能な社会づくりに向けての国内外の動き	アドバイザリーグループメンバー 立教大学社会学部教授 萩原なつ子 国連生物多様性の10年市民ネットワーク企画提言委員 今井麻希子

このイベントは平成27年度独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金の助成を受けて開催されます。

- ▶ 主催：特定非営利活動法人 北九州サステナビリティ研究所
- ▶ 共催：特定非営利活動法人 白神自然学校一ツ森校